

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
1	商工観光課	中小企業資金融資対策事業	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域【1】</p> <p>要改善【9】</p> <p>現行通り</p>	<p>・利子補給＝いろいろ知っている企業者のみお得な制度。多くの中小企業は知らない。知っている人は普通に金融機関で借りられる力はある。今の富津市では厳しいと思う。市民(中小企業)にとってもっと利用価値を知らせる。利子補給知らなかった。市の負担があったとは。</p> <p>・利用者に対する各種の追跡調査を強化すべきかと思います。地域エゴが出るので市単位の事業も必要かと思います。</p> <p>・活性化につながる。もっとホームページでも知らせるべき。</p> <p>・目標値設定(例H26:42件)の根拠、理由が分からない。運用方法を考え直してほしい。規模の縮小など。</p> <p>・市の対策事業であることを事業主に伝える必要がある。事業としてはメリットがあるが、市民には伝わっていない。もっと広く事業所に伝えるべきである。</p> <p>・①年々中小企業が減少しているが、その対策がなされていないので集客の基本が必要。②借りた理由が明確でないので良く知る必要がある。③この制度は税金を投入しているということを広報し、100%活用させるべきである。④市、銀行でこの制度の効果を上げるべきである。</p> <p>・市から銀行への説明をしていければ、良くなると思うので。</p> <p>・制度の周知が必要と思われます。</p> <p>・お金を借りたい中小企業の方はいると思うので制度としてはあった方がいい。ただし、本当に事業を助けたいのであれば仕組みだけつくって借手を手を待つだけでなく、もっと企業の声聞き、見合った制度へと変更していく。そして常に借し出した後、どう変化していったか、どのように有効利用しているか動向(経過)をよく見た方がよい。それをよく分析し、更に役立てられるような制度にしていくのがよいと思う。</p> <p>・運転資金は必要なので、もっと内容をアピールし、借りられる方向を見出し、雇用の確保に役立ててほしい。</p>	<p>不要・凍結【1】</p> <p>国・県・広域【1】</p> <p>要改善【3】</p> <p>現行通り</p>	<p>・市としての個性はないように思います。検討する意思もあまり見えないので、一旦中止して、企業が本当に困るなら企業とよく話し合って市の商工業発展について考えていってはいかがでしょうか。まずはご自身の市の商工業の現状把握、課題の検証を。</p> <p>・「景気の動向を受け易い」ことが根拠であれば、動向によって内容を変更すべき。富津の危機感のある中では、特に利子補給については市中金利との兼ね合いで市の財政負担を軽減すべき。</p> <p>・借り手の理由を分析し、この事業の成果や手法を検討し、見直しをすべき。利子補給の利率は下げるように検討し、市の負担の軽減を！</p> <p>・金融機関への効果的な周知を働きかけるべきかと思います。成果指標の見方を変えて、融資を受けた企業の経営状況を把握することが必要かと思います。全般的に現状の把握と分析が不足していると思われます。</p> <p>・現在では融資額のみが目標となっており、その効果の把握が不十分。その効果を把握しないかぎり、7000万や100万の額(率)の妥当性の議論ができない。望ましい制度のあり方を考えるために事業者へのヒアリングなど情報収集すべき。本事業は市による中小企業対策としてもっとも効果的であるという証拠も必要。</p>	<p>・過去3年、5年の間に廃業した事業所が、この制度を活用していたかの調査。</p>

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
2	商工観光課	海水浴場管理運営事業	要改善	<p>不要・凍結【1】</p> <p>国・県・広域【3】</p> <p>要改善【6】</p> <p>現行通り</p>	<p>・目的が40何年変わっていないような気がする。目的に対するアプローチがどう変わってきているのか、どんな効果を狙っているのかが分からない。海は子供のいる家族でしか行かない。他の年齢層を狙う策を考えてほしい。狙い、アプローチを変えるか他レジャーへの転換を検討してほしい。</p> <p>・ネットばかりではなく、市役所間で電話でもして調べれば良いと思うこと多々あります。富津公園の存在は大きいと思うし、それが国定公園だから。富津岬近くに住んでいます。海水浴の客の市民としての利点はない。渋滞が多くて逆にうんざり。</p> <p>・観光を目的とするのか、観光ではないのか、税金の使い方を明白にしてほしいです。</p> <p>・かけているお金の割に人を呼べるような海じゃないのでは。もっと民間に委託するなり手をかけてあげれば良いと思う。海岸MAPはちょっと淋しい。海のイラストはあまり違いがないし、もっとそれぞれの海の特徴を載せたり、コメントを入れたりしてみたら。他市、他県の魅力的なMAPを集めてマネでいいから書き直した方がいい。まちがいなく私が作るんだったらもっと面白くする。行ってもらいたいと思ってもらえるように。それからこの事業にたずさわる方々がもっと地元を愛することだと思う。ゴミ拾い、トイレ掃除、居心地のいい海であれば人は来るし何度でも行きたいと思うはず。それから海水浴場だけ見るのではなく、その周りの地域に楽しめる場所があるかよくリサーチして研究してみるといいと思う。</p> <p>・①担当者を正職員より臨時職員に業務を移管し、人件費を削減すべきである。②海水浴場の周辺への経済効果を考慮した管理運営をすべきである。③集客のための詳細アピールを実施すべきである。</p> <p>・入込数の少ない場所の閉鎖で人件費削減(監視員)と、海水浴場の良さをアピールして入込数を増やす。</p> <p>・海水浴場に訪れたことをきっかけに、市内で消費や宿泊をするように仕向けられるとよいと思います。ゴミ、違法駐車等地元民にとって迷惑な面もあるので、その点も考慮してほしいです。</p> <p>・PRすべき。</p> <p>・富津市の魅力である海。海水浴場をアピールするための手段とプロモーションの方法を工夫する。目的を持って指標を示し、経済効果を狙う。収益を考慮すべきである。</p>	<p>不要・凍結【1】</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【4】</p> <p>現行通り</p>	<p>・海水浴場は、あるのが当然と思いがちであるが、税コストがかかっていることも事実。海水浴場、開設回数を減らした場合に、経済効果がどのくらい変化するのか、市民の便益がどのくらい下がるのかをアンケートも通じて調査しない限り、ゼロベースで見直すべき。</p> <p>・5つの特徴は違うので、①民間委託②市有財産として活用③市民の為の公共エリア。それぞれの潜在力を活かしたメリハリつけた改善が必要だ！</p> <p>・3年を目安に海水浴場の成果を検証し、観光は何のためにやるのかを再考すべき。収入の確保や5カ所の統合も考えるべき。</p> <p>・5つの海水浴場を必死で守ろうとしているように思います。市民のための5つの海なのか、観光客のための「選べる5つの海」なのか、的をぼけて市民の理解を得られるようにしてください。市民の方は外からのお客様さんを望んでいるのでしょうか。</p> <p>・潜在顧客をしっかりと把握するために、アンケートなどの分析をしっかりとってほしい。海水浴の魅力を高めるために「海水浴」だけではなく、近くの魅力資源とタイアップさせるなどの働きかけも必要だと思う。</p>	<p>・収入をとる方を早急に考えるべき。</p>

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
3	環境保全課	不法投棄対策事業	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の中であったように、捨てたゴミを拾って回っただけではいつまでも変わらない。むしろタダで捨てられた！くらいに思われ、また捨てる人が出る。家庭の中でゴミに対する考えをもっと考える、考えるという意識を持つ。つかまえたり、つかまえられたりとあまりいい感じはしない。不用品でも、もっと利用価値があるものも絶対あるし、例えば究極、ゴミをお金に変える方法はないかとか、そうしたら皆あちこち捨てたりしない。ゴミ、ゴミって言うけど本当にゴミなの？まだまだ使えるものたちばかりです。きつと、むしろそういう部署を作ったら。 ・他の市町村での成功例・成功施策例はないのか？パトロール10人でどれほどの抑止力があるのか。何かの指標で定量的に知りたい。それに応じて最適なパトロール人数の設定をすべきと思った。個人的には増額しても良いと思う(必要あれば)。2年前に富津に移住してきた時の印象は「ゴミが多い市」だった。キレイな市を目指してほしい。 ・捨てられる場所が特定されるなら、夜間見回りや監視カメラの設置も検討されてはと思いました。 ・ゴミステーションに出されている不法投棄もある。そこを利用する人だと(近くにいる)分かっている場合が困る。回収されていない粗大ゴミがたくさんある。相談したら市が住民に対応してくれますか？とういうかして下さい。 ・ボランティア活動の有効利用で人件費(監視員)削減と、市民の意識向上で件数を減らせる。 ・投棄防止に努めることが肝要であるが、方策を考えると難しい(が、方策はあるでしょう)。家庭ゴミが9割ということは、各家庭に意識付けを促すこともひとつの方法か。 ・不法投棄の数は減っても、どうして減ったか考えるべきだと思う。 ・①市民がモラルUPし、不法投棄をなくす活動をすべきである。②人件費削減:正職員→臨時職員へ。③不法投棄監視とクリーン作戦は別カウントすべきである。④パトロールの抑止力を考慮し、活動すべきである。 <p>現行通り</p>	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因を更に詳しく分析することが、まず必要だと思います。市民の目を有効に利用することも必要かと思っています。 ・不法投棄をなくすことが目的であれば、10人の監視員だけではなく、住民全体で取り組める環境づくりが必要だと思います。捨てる人は発覚することを最も恐れるので、目が行き届く仕組みを市と住民で作っていただけたいと思います。 ・費用対効果の視点で、費用をかけて監視員を増やした場合に、収集量がどのくらい減少したのかなどを明示し、どのくらいのコストをかけるのかに関する情報を収集する。市民がみんなで監視する環境づくり。 <p>現行通り【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに強化を図ってほしい。 ・「全国的に問題だから」ではなく、「富津美化の為、捨てさせない」という視点で、もっと積極的な策が必要だと考える。もうひと知恵。 	<p>・成果目標は、不法投棄量を0にすること。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
4	環境保全課	浄化槽設置促進事業	要改善	<p>不要・凍結【2】</p> <p>国・県・広域【2】</p> <p>要改善【5】</p> <p>現行通り【1】</p>	<p>・下水道整備と併行して推進していくには、下水道がいつになるのかわからない。その中で自費転換率が高いのではないか。また、申請に対して認可が低いのではないか。補助金を交付される人とそうでない人もいるのは、不公平さを覚える。</p> <p>・私の家は25年くらい前に家を増築、改装した際に浄化槽をつけました。そういえば補助金があったのか言っていたのを聞いてます。自分はまだ高校生でしたので公共の事業のことなどもよく知らず、みんな家を建てる時は浄化槽を付けるものだと思っていました。今、家は下水が整備されておらず、生活排水は「垂れ流し」です。この時代だと思いますが、なんでこんなあたりまえの設備がいつまでも整わないのかがよくわからないです。まず第一にすべきことではないでしょうか。毎日のことなのに不思議。井澤仕分け人の言うように、何もしなくてもいいんじゃないかとするなら、下水に対する生活排水の内容を変えればいい。使う洗剤とか、ピリカレって知ってますか。川とかに流しても水をキレイにする洗剤。それからシャボン玉石ケンのEM洗剤とか。</p> <p>・未だに浄化槽を取り付ける事が出来ない方が、どうしているのか。取り付けるのに少しでも工夫する事は出来ないのか気になりました。</p> <p>・①合併浄化槽の設置を市条例化し、設置促進を図るべきである。②広報ふつつ、回覧板でPRしてはどうですか。③必要性をPRしたらどうですか。</p> <p>・(なるべく)不公平のないようにしてほしいです。</p> <p>・下水道が整備されるまでは実施とするが、金額の変更を含め、申込み数分は支払する方向。(富津市分のみ金額)</p> <p>・お金の出所の説明が最初にあったほうが良かった。目標の再設定が必要。</p>	<p>不要・凍結【2】</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【3】</p> <p>現行通り</p>	<p>・当面、新規設置補助金は廃止。3年を目安にこの補助制度は廃止。</p> <p>・生活排水の話題は意識改革の問題である。補助金の申請が通らなくても、合併処理槽は促進されている。もっと徹底的に手厚く補助するか、公平性の為に凍結する、どちらか。</p> <p>・新規への補助を止めて、転換に特化する。新設を減らした分、転換分の補助額を増やす。予算の限りもあるので、現実的な目標で進めていく！環境悪化のコストとのバランス！</p> <p>・新規設置は止めるべき。次の課題は単独を転換させること。補助以外のインセンティブは考えられないか？目標を再度現実的な設定に！併せて市民の生活排水をできるだけきれいにする対策も。</p> <p>・公平性が保たれていません。一方で下水道の整備も財政的にあまり現実的ではありません。それでも生活排水処理率を増やしたいなら、既存の単独槽、くみ取り便槽の転換にインセンティブをつけたり(ネガティブですが、くみ取り料金を上げてもいいかも)、啓発活動を積極的に行ってください。</p>	<p>・新規設置を廃止して、転換に重点化。</p>

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
5	総務課	防災関係費	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住して来た方にも分かりやすく、区の説明などを加えていけると良いかなと思いました。 ・自助・共助・公助。3. 11以後市民の自助意識は増加しているはずで、それを「あて」にする姿勢もありだと思ふ(市政の状況が状況だから)。予測被害者数が分からなかった。212万人のうち死者数は？どれくらいの規模なのか。70%の理由は？42条には規定はないため減らしても良いと思ふ。 ・防災は必要不可欠なので備蓄は十分にあって欲しい。自助・共助を促すために、自治会はもちろん、隣組を活用して、自意識を高めてほしい。 ・地区の持ち回りではなく、年に1回以上は防災訓練をした方がいいと思ふ。昨年地区の公民館に集まって住民と話し合った。お年寄りの防災意識が高かった。「試食があるよ」と言うともっと訓練や話し合いに参加すると思ふ。備蓄品の有効利用を。 ・人命に関わるので充実してもらいたい。 ・防災業務気象情報支援サービス業務委託料は考える必要あり。他に情報入手はできるのでは？県からの入手、大企業からの入手、マスコミからの入手等。 ・①自主防災会の加入促進(現在53. 3%→100%目標)で活動する。②自主防災会の訓練活動を市が積極的に推進する。(自助・共助)③家庭内の備蓄を推進すること。④共助の役割分担を明確にさせる。⑤防災知識の普及を市が推進する。 <p>現行通り【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで大きな災害にあっていないので、実際「何とかなるだろう」くらいにしか防災について考えていません。近所を見回しても皆のんびりしていて、本当に自分たちにそんな事が起こるのか？というのが現状。例えば富士山が噴火したらどうするか考え出したらキリがない。何をどこまで準備するとかよく分からない。地域で防災訓練とかして意識を高めたらどうでしょう。私にとって一番心配なのは飼っている3匹の猫をどうやって連れて逃げるのか。自分はごはんを食べなくても猫には食べさせてあげたい。でもきっと周りの人はそう思わないでしょう。人によって大事なものは色々です。 ・(自主防災組織について)熱心な方の意見を基準に市の方で計画を立てたり、頼みごとをしたりすると、ついていけない方もたくさん出てくるのではと思ふ。災害時、実際にどのような活動をされるか分かりませんが、能力を超えた仕事は任せないというも考え方だと思ふ。市がもっと積極的に関わるべき。 	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織をしっかりと拡充し、各自治会で備蓄し、市による備蓄は減らすなど、自助・共助にシフトしていくべき。そのためのインセンティブ補助も検討の可能性。 ・災害時の住民の役割をしっかりと具体的に示すことも重要ではないか(備蓄について)。自主防災組織→組織化も重要だが、いかに機能されるかの方が重要→そのための取り組みを推進すべき。 ・何をもち住民の安心を得られるのか再検討し、市が備蓄をするのではなく市民に求めるべき。しかし、住民が備えることが困難なものを中心に考えるべき。 ・災害が起きると怒りのはけ口が行政に向けられる傾向にあります。事前の説明責任を果たして、「行政の役割」を事前に明確にするとよいと思ふ。あと、自治会対策も。私の住んでいる地域では「自治会は干渉し合うものではなく、災害時等に孤立しないために互いの存在を把握し合うもの」と住民課で転入時に加入を促しています。 <p>現行通り【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いざという時」は「想定外だ」という理屈はつけられない時代です。拡充を基本に大幅な見直しが必要と考へます。自助・共助が互いに協力する為に、行政のできる事を予算内で表明した方がよい。 	<p>・自助・共助との役割分担を今後続けていく。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
6-1	健康づくり課	母子保健事業 (妊婦乳児健康診査事業)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域【1】</p> <p>要改善【5】</p> <p>現行通り【2】</p>	<p>①仕分け対象としては不適切。②人件費は高すぎる(1人に換算すると7,160千円)</p> <p>・交付税etc分からないが、税金はいくらでもあり、大事な事業だから沢山使ってもいいという考えがある気がする。(6-1、6-2、6-3すべてについて) 削れる所は削ってほしい。</p> <p>・14回分の公費ではなく、重要な月数の時に使用できる様に回数を少し減らしてでも良いのでは？</p> <p>・妊婦さんにとっては他自治体より検診回数が少なくなることは不安と思うが、財政状況を考えて1回でも回数は減らした方が良いと思う。回数を減らしての成果から14回に戻す。更に回数を減らすと思いついた改善があっても良いと思う。</p> <p>・事業シートの事業概要の実施方法の業務委託の欄ですが、千葉県の医師会と14回の検診と費用額が決まっているという事でしたが、ここに書かれている病院は、遠い大病院ばかりですよね。もっと身近な病院ではダメなんですか？検診の内容は、他と比べてどうなのでしょう？国のお金を何%使って、市民の税金を何%か市民に明確にしてほしい。</p> <p>・通院制度は全国一律が良い。(里帰り出産・転出県外)(ネットワーク)。(富津市としてのビジョンに活かす役割として)他、市の役割として出来る事を考えてほしい。[受給券発行後のフォロー(検診を受けているかどうか。若い人へリスクのある人へ高額医療控除への説明など)]シングルマザー(疾病・多胎児)</p> <p>・若い夫婦が転入してくる場合、出産・子育てが気にかかることなので、できるだけ充実させ、ホームページ等で公表していただきたいと思います。出産前、子育て中の母親に細かな支援についても聞く必要があると思われれます。</p>	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域【2】</p> <p>要改善【3】</p> <p>現行通り</p>	<p>・少子化対策は重要な施策であるが、市が独自にやれる、またやるべきではない。また、裁量の余地が著しく狭いことを考えても広域で実施すべきである。</p> <p>・市町村の自治事務の現行制度下、県一律の助成となっていることにはやや問題を感じるが、本来の趣旨に鑑れば国で一律であってしかるべきと考えます。妊婦乳児の事故率などより本質的な成果指標を検討できると良いと思います。</p> <p>・成果目標は利用率ではなく、これによって妊婦、乳児のトラブルを減らすといったアウトカム指標を設定すべき。また、そのアウトカム指標の変化に応じてプログラム自体に改善をしていくべき。まずは子育てのビジョンを作り、具体的な目標を設定し、その達成に向けたプロセスの中で検診を位置づける。さらに、就学以降の連携を作る。</p> <p>・忙しいと思いますが、見直す機会を年に1回は作って進めてほしいと感じました。</p> <p>・国のガイドラインがあるとはいえ、14回にアップさせた成果の把握がされていないように感じる。回数増から5年程度は経過していることから検証が必要。</p>	

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
6-2	健康づくり課	母子保健事業 (1歳6か月児健康診査事業)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100%検診の目標をお願いします。保育園・託児所への出張検診でも良いのでは？親不在でも(併せ家庭環境)。全乳児が受けられる努力を。 ・人件費の見直し要(24年:7,160千円、25年:7,160千円、26年:7,160千円、27年予算:7,160千円で検討要) ・年間の予定を広報に載せている事は良い事だと思います。その事によって受診の人数が増える様にする。 ・長年の実績がある事と思いますが、人数が少ないからこそできることがあると思う。回数を減らしても内容を充実させるなど工夫して欲しい。 <p>現行通り【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子の健康の為には必要だと思います。現行の通りの月1回の検診と欠席の母子には訪問しての指導は重要だと思います。離婚についても多くなっているの、母子家庭の母親には大切な支援と思います。母子家庭でも安心できる支援、安心できる市であってほしい。 	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定は100%にすべき。広報の充実。費用対効果を他の自治体のケースと比較し、改善を図る必要がある。成果目標は利用率ではなく、これによって妊婦、乳児のトラブルを減らすといったアウトカム指標を設定すべき。また、そのアウトカム指標の変化に応じてプログラム自体に改善をしていくべき。まずは子育てのビジョンを作り、具体的な目標を設定し、その達成に向けたプロセスの中で検診を位置づける。さらに、就学以降の連携を作る。 ・効果測定等がほとんどなされていない。必要性を否定するものではないが、検査の効果を細かく把握すべきである。 ・忙しいと思いますが、見直す機会を年に1回は作って進めて欲しいと感じました。 ・法的義務であり、目標は100%とすべき。各種関連する教室事業も含め大変熱心に取り組まれていることは分かりますが、対コスト、対目標で実施状況を的確に把握し、客観的な分析を行い、より効率的・効果的に実施できるように改善をご検討下さい。(回数、どのように委託するか、目標達成に至らない部分の分析と対応) ・受診率を向上させ、100%を目指すべき。未受診の方が受診者よりも高い割合でリスクが高いと思われるので、他の手段も併用して子どもの健康状態を100%把握できる体制を作る必要がある。 <p>現行通り</p>	<p>・実施回数の見直しの検討が必要。検診の必要性の周知。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
6-3	健康づくり課	母子保健事業 (3歳児健康診査事業)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【6】</p> <p>・100%検診の目標をお願いします。保育園・託児所への出張検診でも良いのでは？親不在でも(併せ家庭環境)。全乳児が受けられる努力を。訪問するのなら、厳しいくらい(しつこいくらい)の育児状況をみてチェックしてほしい。(来て診る親子は心配ないと思うが、来ない人は問題がありそうだから)</p> <p>・具体的な目標と目に見える成果(実績)が不明。PDCAのサイクルが回っていない。</p> <p>・検診事業は続けた方が良いが、それに参加する人数をもっと多くできる様に知らせた方が良いと思います。</p> <p>現行通り【2】</p> <p>・法で決まってい止めれないなら、内容も受診率も充実してほしい。ここでは、子供に社会性への適応を目的としている様ですが、この時に母親に指導して成果はどんな形になるのか？個人的な親と子の生活、成長は行政では踏み込めないと思うのですが、おざなりな指導ではないですよ？</p> <p>・小学校・中学校と富津市に住んで子育てをしていきたいと思える支援が必要であると思います。そのためには乳児から3歳4歳までの支援は大切なことと思います。</p>	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【5】</p> <p>・目標設定は100%にすべき。広報の充実。費用対効果を他の自治体のケースと比較し、改善を図る必要がある。成果目標は利用率ではなく、これによって妊婦、乳児のトラブルを減らすといったアウトカム指標を設定すべき。また、そのアウトカム指標の変化に応じてプログラム自体に改善をしていくべき。まずは子育てのビジョンを作り、具体的な目標を設定し、その達成に向けたプロセスの中で検診を位置づける。さらに、就学以降の連携を作る。</p> <p>・効果測定等がほとんどなされていない。必要性を否定するものではないが、検査の効果を細かく把握すべきである。</p> <p>・忙しいと思いますが、見直す機会を年に1回は作って進めてほしいと感じました。</p> <p>・法的義務であり、目標は100%とすべき。各種関連する教室事業も含め大変熱心に取り組まれていることは分かりますが、対コスト、対目標で実施状況を的確に把握し、客観的な分析を行い、より効率的・効果的に実施できるように改善をご検討下さい。(回数、どのように委託するか、目標達成に至らない部分の分析と対応)</p> <p>・健康診査それぞれの段階でもっと分りやすい成果の設定をすべき。検診で何が発見され、それをどう活かしたのかを指標化。</p> <p>現行通り</p>	<p>・実施回数の見直しの検討が必要。検診の必要性の周知。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
7-1	秘書広報課	広報関連事業 (広報「ふつつ」関係費)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報だけではなく、読んで楽しく、次回も読みたくなる様な広報紙になると良い。目的に応じた記事。 ・広報紙は、インターネットなど利用しない方たちにとって重要な情報ツールだと思うので継続してほしいが、内容を見直し、ページ数を減らす隔月発行にするなど考えてみてほしい。 ・市民に配布してどれほど読まれているか調査した事がありますか？広報紙は必要です。ただ、もっと広く役に立つ事を記載してほしいので、文芸のコーナーはいりません(いつも同じ人ばかり)。内容を見直し？ページを減らして費用をおさえてほしい。三井アウトレットパーク木更津に置いていますか。他市、他県の人にもアピールしたら部数が増えると費用が増えますが内容を選別して富津をアピールしてほしい。 ・行政の広報なので必要な情報を知らせて頂ければ良いと思う。基本現状でOKと思うが改善もありと思う。 ・コスト意識を持って(削れるところは削って)読みやすい紙面作りを希望します。 ・コスト減に配布方法(重複、広報)を再考できそうです。読んでいる人は読んで、市連絡を理解しているが、読まない人への広告の工夫。お年寄り・高齢者が多いので(地区もある)地区へ広報紙を届けられて各課の問い合わせの電話番号をのせる。広報紙の表紙をもっとインパクトあるデザインが良いと思う。その月のメイン、詳細はHP、問い合わせを載せるなどで大まかなお知らせを分かりやすく。大文字。ラジオは必要？広報部は民営会社を起てたと(目標もって)思って積極的に！！ ・必要ない方、配布不要であるかどうか確認して部数を減らす(コンビニ等に置いてある旨伝える)回覧版での配布はダメなのか？ <p>現行通り【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状でも読みやすく、よく出来ていると思う。縦書き、横書きはこだわる必要はない。 	<p>不要・凍結【1】</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の求めに上手く対応しているようには感じられません。 ・①広報紙・HP・FB・メルマガetcなどの属性を踏まえた広報媒体の目的別活用を考えるべき。また、その前提として広報の目的を再確認。②コンテンツ、見せ方など編集の努力がさらに必要。③コスト削減、効果アップのために部分で外注をすることも検討課題。④広報なども積極的に取り入れる。 ・市民に読んでもらえる広報紙になっていない。何のための広報かもはっきりしない。 ・紙面のリニューアルを行うべき、それに伴って掲載すべき情報の再整理を行ってはどうか。 ・作成の業務工程をより効果的・効率的な内容になるようにすること(より読みやすく目的を明確に)、また、配布の方法についても手広く手広くということではなく、効果的かつ効率的な手段に絞ることが求められると思います。 <p>現行通り</p>	<p>・紙面の構成等見やすい広報紙へ。広報収入の検討。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
7-2	秘書広報課	広報関連事業 (市ホームページ管理事業)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人、自営業者、漁業、勤め人、子供(中高生)それぞれの人々がそれぞれ的手段で富津市情報が確認できるように改善。 ・委託先の選定はどうしたのか？入札はかけたのか？ ・仕分け人さんからの提案策改善を望みます。(コストの判定に難しいです。) ・もう少しみんなに広くホームページを知らせられる様にした方が良い。苦手な人でも簡単に開ける。 ・HPは市民はじめ、他市民にも富津を知ってもらえる場だと思うので、より見やすい、使いやすいHPIにしてほしい。 ・どこの市のホームページも同じ様な感じつまらないですよね。同じ時間を掛けるなら魅力ある個性のある、市民以外の方が興味のある内容にしてほしい。ネット時代なのでホームページは必要ですが、高齢者の多い富津で市民が見るの？広報ふつつと内容が重複するぐらいなら無駄。 <p>現行通り【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けのフェイスブック、ホームページスクール(教室)について検討してもらいたい。 ・利用したことがないので分からない。 	<p>不要・凍結【1】</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①広報紙・HP・FB・メルマガetcなどの属性を踏まえた広報媒体の目的別活用を考えるべき。また、その前提として広報の目的を再確認。②コンテンツ、見せ方など編集の努力がさらに必要。③コスト削減、効果アップのために部分で外注をすることも検討課題。④広報なども積極的に取り入れる。 ・他の広報手段との関係からホームページの役割を明確にする必要がある。スマートフォン対応の検討も必要。 ・ホームページも広報紙と同様、より閲覧しやすく、アクセスしやすくすることが求められます。他の手段との役割分担も重要です。フェイスブック等の活用と併せて、より効果的な手段となるよう、掲載内容や構成の検討が広報戦略的な観点で必要だと思います。 <p>現行通り</p>			

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
8-1 8-2 8-3	健康づくり課	がん検診事業 (胃がん検診事業) (肺がん検診事業) (大腸がん検診事業) ※一括判定	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域【1】</p> <p>要改善【6】</p> <p>現行通り【1】</p>	<p>・ガンの中で肺がんの率はどれほど？タバコが主な原因なら、禁煙活動に費用を使ったら実施するなら有料にしたらどう？</p> <p>・だんだん分からなくなってきました。国が進めているなら国ベースでやればいいのでは？(実務は市町村がやるのだろうけど)</p> <p>・事業成果を受診率だけではなく、具体的な事業結果((財団)国県からの助成も必要で考えに沿ったコストを。)を出し、市民に受診を促す(アピールの仕方工夫)。目標受診率は市民にはあまり興味ないので。</p> <p>・がん検診と治癒の関係が不明確である。早期発見と治癒率の改善はイコールでない。</p> <p>・「健康保険費」ガンになれば医療費負担がかかるので訪問してでも検診を確認すべきである。もっと町内会等を活用すべきである。糖尿・ガンが町内で多くなっている。</p> <p>・がん検診、大切なことと考えます。しかしこれが検診のみでなく、どれだけ役立っているかという客観的データ欲しい。周知願いたい。</p> <p>・医療機関にポスターを貼ってもらうのは良い。3つの検査を1日でできると受け易い。</p> <p>・肺がん検査の対象者は希望者だけにしてはどうでしょうか。</p> <p>・定期的に検診を受けられない人には必要。もっと周知すべき。</p>	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【5】</p> <p>現行通り</p>	<p>・効果測定を精密に行った上で受診に効果があるとすれば、受診率の改善に向けて費用負担、通知の方法等について検討すべきである。</p> <p>・まずは効果測定を行うこと。それによって検診の合理性を確認する。その効果によってやり方の改善を行っていく。コスト効果のバランスを考える。</p> <p>・そもそもの目標設定～実績の把握～成果分析に至るまで、より客観的・論理的な根拠資料作りが求められる状況だと思えます。それによって初めて戦略的な方向性が見えると思えます。手段が目的化してしまっている。あるいは、熱心ではあるけれども的を射た対策が打てているか分からないように見えます。</p> <p>・個別に出来ないか？3種を同時にできないかなど受診率向上のためには改善の余地が大きいと考える。個別の勧奨通知の効果の有無など検証が必要。</p>	<p>・効果を検証し、効果が高いのであれば拡充実施を(個別通知)</p>

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
9	社会福祉課	精神障害者福祉事業	現行通り	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域【3】</p> <p>要改善</p> <p>現行通り【5】</p>	<p>・市だけではできない事業なため、国県に助けを求めよう。ケースワーカー現場への人材不足を考えたり、目的、社会復帰を促進する為にシステムの充実が必要だと思う。</p> <p>・市内に入院する場が無いのはわかりますが、市外に入院している「富津の住民基本台帳にいる人」を助成はどうして？きりが無いのでは。通院助成がなくなってよかったと思います。「障害者施設等に入所せず市外に転出したとき」とは？障害者を助成する事はすばらしいと思いますが、世帯の収入等の基準をもう一度考えてほしい。</p> <p>・自分が正しく理解してるか分からないが、いい事業だと思う。</p> <p>・精神障害者、身体障害者、知的障害者の定義が不明。本事業は身体障害者、知的障害者は対象外か？</p>	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域【1】</p> <p>要改善【1】</p> <p>現行通り【3】</p>	<p>・趣旨を鑑みると、県あるいは国レベルで一律の制度であって然るべきかと思えます。その際、「手帳」の取得が前提となるというのは、現実的ではないということも現場感覚として理解できます。ただし、どのように公平に助成をするかを制度設計する必要がありますので、現場の感覚とすり合わせての制度設計が国県レベルでなされるよう、働きかけが必要なのではないかと思えます。</p> <p>・県の重度心身障害者医療制度の変更に合わせて見直しを検討すべきと考える。対象者像をもっと明らかにしないと市単独で継続していく説明、理解を得ることが難しいのではないかと。</p> <p>・常に市民に説明できる考え、方針があれば、市民の理解は得られるもの(事業)と思えます。</p> <p>・現状では見直しは困難と思われる。ただし、将来的には国で実施すべき事業である。</p> <p>・判定不能。国の政策も含め、精神障害者関連事業全体の中で議論すべき。まずは情報の公開と共有化を図る。</p>	

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
10-1	財政課	公用車管理事業 (車両管理事業)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【13】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両の稼働率、正確なデータを取ることが必要。故障のトラブルが発生している車両については早急に対応をした方がよい。 ・稼働率0%の車両が気になった。 ・車両の日々のメンテナンスを行っているのか。乗るだけなら維持費も嵩むだけ。使用する職員の意識の低さが気になる。 ・データ取りも全職員が徹底すればそう難しくない。データを取れない(職員の協力不足)と笑っていたが、全く笑えない。自分達の仕事のできなさを露呈しているだけ。 ・稼働率と利用状況を把握し、本当に必要な台数の見直しが必要と思われる。一定の年数を過ぎた車両は買い替え又はリースを検討し、燃料費、修繕費、税金等の削減にも目を向けるべき。 ・有料道路の料金が高いと思われる。目的地までの距離、時間に応じた線引きが必要ではないか。また、途中から公共交通機関を利用する方法を考えるべき。 ・車両についての全てのデータが不足。現状がわからない。稼働率が少ない車は減らしてもいいのでは？ ・まず、適正な台数を考えてみた方がいいと思う。せっかくのシステム、使いこなしましょうよ～！もったいない。まずは現状把握から。 ・稼働率を調べて利用状況を記録するのは、共有する車を利用する者の常識だと思う。普段乗りではない車両は別として、他の車が100%近い稼働率にならないのならば、古い車両の維持を考えるべき。職員の減少と共に、業務量は減っていないのですか？課毎に分ける必要はあるのか？予約システムも改善した方がいいと思う。それでも足りないのなら、その際はレンタカーを利用したりしても良いのでは？維持するよりもずっと安いと思う。 ・全て車でなくても近くは自転車やバイクを使ってもいいのでは？生活の中で市民は車、ガソリンについて考えながら使います！処分するなら方法も損の無いようにしてください。 ・必要台数を調べてみるべき。最高・最低でみて、財政に応じてよく考えて下さい。最高で揃えないで下さい。 ・稼働率や走行距離の少ない車両を各部署でローテーションできないのか。先を考えた修理等は出来ないのか。各課に配車をする必要があるのか、また、全ての課が共有できる車両があってもいいのではないのか。なぜ、実稼働率等詳細なデータを集めないのか。 ・管理の認識が甘い。民間では考えられません。税金を扱うものとしてもっとしっかりしてほしい！自分の稼いだ金で管理すればちゃんとやれるんでしょう。 	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、現状を把握することが重要かと思います。庁内システムへの入力をしっかりした上で分析し、職員全体で共有できるようにすべきだと思います。 ・「必要以上の台数の古い車を持っているなら、新しい車を必要分管理しては」と市民は感じると思います。使った日数を稼働率にするのはちょっと違うと思います。現段階では目的に書いてある「経費の節減、車両台数の適正な管理」はなされていないと思います。 ・稼働率は常に把握し、適正台数を正確な目標値とすべき。自己所有とリースの経費比較ができていない。人件費、補助金を含め経費比較は必須で、市民説明も必要。各部管理にする必然性に疑問。各部管理と共有と使い分けの検討も必要。 ・しっかりとした使用状況、予約状況の把握を行い、まず現状を知る。システムの運行を考え、課、部を超えての共有が必要ではないのか。 ・利用度の調査、車が足りなくて困ったケース、事情についてアンケートを聞く。利用後の結果報告の記入を確実に。ムダは無いと思われるが、記入徹底により利用がどのように変わるのかの変化も重要。 	<p>・システム入力の強化による現状把握の徹底をするべき</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
			現行通り	<ul style="list-style-type: none"> ・車両管理の基本のキが疎かになっている現状では、次の議論が成り立たない。かなりの数の車両が減らせるのではないか。世間に向かって財政破綻を明らかにしたのであるから、副市長・議長専用車等は即刻廃止すべきだと思う。市長車も廃止すべきだ。世間に向けて説得力がない。隗より始めよ、率先垂範という言葉があるではないか。 ・全体の把握が必要である。 ・根本的に事業仕分け以前の問題。議論の対象にもならない。担当者の意識改革が必要。一から出直すべき。仕分け人の質問にも答えられない。出来るだけリースに切り替えるべき。 	現行通り			

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人・評価内容	
10-2	総務予防課	公用車管理事業 (車両維持管理事業)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の必要性はない。1年間の火災数は30件であれば、救急車の充実を図るべき。消防団を含め、消防車の台数の見直しをすべき。住民から消防費を徴収しており使い道に不明な事が多い。 ・消防団車両の整理が必要。団員の減少も考える必要がある。 ・救急車を増やした方が良い。 ・消防団分団の組織改編が迫られているのでは？消防団所有車両が26台は多すぎるのでは？1300万円余りもする消防団車両の定期的な買い換え、維持管理コストも見直しを迫られているもの。 ・拠点を減らすことにより、現場までの距離が延びるのではないかと。また、設備の整った病院までの距離が長い。予備の救急車はないのか。消防団は本当に機能しているのか。 ・命を守る救急車は充実してほしい。早く病院に着けるように！天羽地区も富津地区も平等に！確実に出動可能。火災ではなかった出動が多すぎるような気がしました。何台も出動して無駄になります。何か手段はないのでしょうか。 ・広報車は何をするのか？何台も必要なものなのか。救急車にもっと力を入れていいと思う。しょっちゅう見かける。救急車、病院まで48分かかるとか。鴨川との市境に住んでいる人は心配だろうな。 ・点検などの「災害が起こったあと」のことより「災害が起きる前」の呼びかけなどにお金を使って欲しい。 <p>現行通り【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車が少ないのに市民として少し心配になりました。イメージとしてこれ以上減るのはよくないのですが、所有していても古いのは大丈夫かな？と思ってしまいました。他市は100%以上の所有なので富津も頑張るべき。 ・救急についての不安はある。 ・出動効率(通報～出動・到着etc)のデータが欲しい。 ・人命に関わる事項の為、削減等の検討は不要と思われる。ただし、経年劣化による修繕費の増加を踏まえ、買い換え等の線引を見直す必要があると思われる。また、経費のかかる整備等は回数の軽減が可能か検討していただきたい。 	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標の見直しを検討した方が良いと思われる。 ・市民の生命・身体・財産と聞くと、それに関する費用は削減しにくいことは理解できます。しかし、いざというときの保有には、消防車が充実しすぎています。一方で高額という理由で救急車両は不安です。実態を把握して、より効率的な管理をして、市民を安心させてください。市民は消防より救急の方が興味があると思うので、現状について説明責任を果たせるようにすべきです。 ・必要台数について国基準の充足率の他自治体比較を正確に行うべき。現地到着時間の把握は必須。これによる富津市独自の適正台数を持つべき。 ・救急対応の充足または救急回数の削減をどうしていくのか。消防の台数の効率化を検討。 ・国の指針に合わせるのは、財政的余裕があれば良いが、地域の状況に合わせて、市にとって望ましい形を見極めるべき。 <p>現行通り</p>	<p>・成果指標のとり方を変える。消防団長車は更新しない方がよい。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人・評価内容	
10-3	生涯学習課	公用車管理事業 (生涯学習バス設置事業)	要改善	<p>不要・凍結【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の生涯学習バスは受益者負担でよい。公民館の利用者は同じ人が使用して税金を使うべきではない。行事に必要な時に民間から借りるべき。学校関係は別予算で。 ・業務委託していることのメリットが見えない。各団体が自費で足を運べば良いと思う。利用したことが無いので必要性を感じない。 <p>国・県・広域【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道ではダメなのか。バス会社への委託は出来ないのか。市の行事や学校行事においては利用者負担で民間のバス会社の利用が良いと思う。1台でも良いのではないか。他の団体と共有できるのではないか。 <p>要改善【9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費も検討する必要がある。貸出も全体的に整理が考えられる。 ・そもそもこのバスを見たことがない。積極的に利用する人のためのあまり必要性を感じない。 ・2台を維持する必要はあるのか？他市のように他業者との契約にしても良いのでは？有効活用と止まっている時のバランスを考えられないか？他の方法をうまく組み合わせて活用できれば良いと思う。 ・保有台数の見直し。利用代金見直し。有効活用。学校行事優先。 ・学校専門のバスがあってもいいと思う→スクールバスは使えないの？現状を把握して見ることの大切さを改めて知りました。使われ方をよく見て台数を考えた方がいいと思う。使われ方を見るのが大事なんだ！ニーズがあるから増やせばいいということではないんですね。 ・バス利用率が少ないのであれば、不要なのではないか。電車等利用して行くのも必要。実際、少人数のサークルでは自家用車で乗り合わせたりして出かけていると思います。スクールバス？天羽地区は無いですね。利用日を取るのが簡単ではなかったように思います。 ・予算事業名が実態にそぐわない。学校、保育園児が優先的に使っているから事業名も改正すべきでは？高齢化が進む中で、健康な(医療費、介護費をあまり使わない)お年寄りになってもらうためには、この分野の活動支援の充実も求められているものと考えます。 ・契約内容を見直し、コストの削減が可能かどうか検討していただきたい。(バスの市所有から民間業者への委託へ変更も含め)利用団体からの収入が増やせるか検討し、支出を下げる。 ・利用料を徴収する方向にシフトできれば良いと感じる。 <p>現行通り【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が学生だからあった方が得をする。 	<p>不要・凍結【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使いたい時に使いたい分だけバスを借りれば良いと思います。補助金を交付してる団体にはその補助金から実費を支出させることもできるようになります。また、活動自体にバスの利用基準を明確に定めるとともに、受益者負担についてより真剣に考えてみていただきたいです。 ・スクールバスを利用できるのでは。無料ではなく色々な形で利用想定者(学校PTA、自治会)から、間接的な方法での負担のあり方を考えるべき。真に必要な場合は利用のたびに補助をして借りる方法もあるので <p>国・県・広域</p> <p>要改善【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習分野での利用の重要性は高いと思う。」という方向性が強ければ必要性は高いと思う。ソーシャルキャピタル(人と人のつながり)を高める。ただしあり方については、ゼロベースで考えるべき。 ・ゼロベース(一次凍結)の見直しをすべきだが、手法が困難で要改善とした。車両2台の保有が目的となっている感が否めない。根本的手法の検討が必要。 ・事業の目的が生涯学習ではなく教育に移ってきている。事業実体と目的の違いを見直す。また、稼働率の月別の違いも大きく、バスを2台保持する必要があるのか疑問である。 <p>現行通り</p>	<p>・稼働状況が悪すぎる。更新を止めるべき。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人・評価内容	
11	学校教育課	学校バス運営事業	要改善	<p>不要・凍結【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市にあるバス、必要性に応じて利用できると思いますが(バスはいつも空席が目立っています)竹岡の子達は日東バスの定期を買っていただきましたが、部活の都合等、必ずしも利用せず、自家用車送迎が多かったです。ガソリン補助賛成! ・お金をかけすぎてる気がする。 ・1児童・生徒当たり年間6万円は掛け過ぎ。 <p>国・県・広域</p> <p>要改善【8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習バスと重複利用、空き時間帯の有効活用。 ・基本的に子供の為の費用は採算に合わなくても仕方がないと思うが、26人用のバスでなく、他の車でもよいのではないかと考えるべき。ガソリン補助を家庭に給付するなど考え住民については福祉の分野で考えるべきではないか? ・住民の人が一人なのにバスを走らせなくても、タクシー代を出してあげるとか。乗る人が少なかったら小さい車にしてみてもいい。お金は住民の人からは取ってもいいと思う。 ・富津市の財政を考えた場合、料金を考える必要がある。 ・バスを小さくする又は市役所バスを使えば十分だと思います。 ・有料ではいけないのか。保護者にはお願い出来ないのか。小中学生以外は有料。 <p>現行通り【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を児童・生徒と一緒に乗せるということは、教育的事業と同時に住民への福利厚生的な事業でもある。限界集落、消滅集落と言われる地区住民への行政側がすべき、延命のためのサービスだとも思ってしまう。こういう集落が何と多いことか。個々の対応は自治体がやらざるを得ないが、大きな(抜本的な)対策は国がすべきもの(事案)だろう。効果があるかどうか判らないが。 ・下校時刻のバスが3本運行しているが減らせないか。人数の変動によりバスの変更等で経費を削減できないか。特例利用の人については、定期の発行等により料金を徴収できないか。 	<p>不要・凍結【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の住民も乗せることにして路線バス形式にしてはどうか?他事業の生涯学習バスと共に併せて見直す必要があるのでは? ・代替案が保護者の負担のみであっても、事業の一時凍結を考えるべきであるが、市町村サービスとしては必須であり、方法を根本的に見直すべき。26人乗りバスを3台所有する必要はない。早急な根本の見直しをすべき。料金徴収もすべき。 <p>国・県・広域</p> <p>要改善【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし他のバスと併用できないならワンボックスカー2台体制でもよいのではないかなと思いました。地方交付税の話がありましたが、混乗とか特例運行とか、制度として大丈夫か確認していただくと良いと思います。 ・バス(車両)の大きさを再検討する必要があると思います。特例利用については富津市役所全体での調整を具体的に進める必要があると思います。 <p>現行通り【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来に向けては、必要性に応じて車のサイズを見直していく!車が空いている時に、市民が使えるようにできないか検討していく!生涯学習バスの代替になりえるかもしれない。 	<p>・交通対策と福祉政策が混在しており、現状ではそのメリットが出ていない。ガソリン代補助などへ検討を早急に。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人・評価内容	
12-1 12-2	企画課	バス運行負担金 (廃止路線代替バス運行費負担金) (富津市役所・君津駅バス運行費負担金) ※一括判定	要改善	<p>不要・凍結【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まであったものが、無くなるのは不便だが、どれだけの人が利用しているのかを考えると、実際に自分が利用する立場だとしてもなくなっても納得できます。税金を使っているのですから、他の方法を検討すべきだと思います。 ・これだけマイカーが普及している中で、利用者の少ない又はいない路線バスはいるのか。高速バスストップと同じで現状の正確な利用者数や今後の利用者増加への取り組みが全く見られない。 ・路線バスの赤字を補助する金額(3千万円)は高すぎるのでは？路線より山中から学校へ通う子は、そこまで歩くか自家用、自転車！足の無い人(障害者ではないが車に乗らない方)少数(バス利用者)乗り合いタクシーのような車が、市で(予約)出せると良いですね。走行中のバスは空席ばかりです。何の為に走っているのか、税金がいくらあっても足りなくなる。 ・介護、障害で必要な人には、ある程度補助が確立しているのなら、本当の交通弱者には受益者負担を含めて、オンデマンド等を考えるべき。また、同じ費用を使うならコミュニティバスの運行も考えるべき。廃止考えるべし。 ・自家用車が主となるこの地区で、利用者が少ないのはわかっていた事と思います。負担金(税金)を出すならば、市にあるバスで何か利用出来ないのでしょうか。利用時チケットもよいですね。三浦市の方法が良いですね。補助金払い続けるならば、止めるべき。 ・もっと別の良案があるはず。 ・市役所移転でこの路線がこの路線ができたのですか？全く知らなかったですし、誰の為にできた路線なのかがよくわかりません。利用している層をみて、他の方法を検討してみてもは。 ・市役所から君津駅までの利用者は何のために利用しているのか。君津駅までであれば電車で良いのではないのか。バスに乗るメリットは何なのか。 <p>国・県・広域</p>	<p>不要・凍結【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該予算の3,000万円で、移動制約がある方は救われているのでしょうか。オンデマンドは手法の一つであり、こだわる必要はありませんが、この3,000万円でもっと多くの人の交通の利便性は確保されるはずですよ。 ・現方法ではバス事業者の助成に過ぎない。福祉政策としての代替策がない交通弱者の把握(需要の把握)をした上で、方法の根本的見直しが必要。 ・駅まで行く足がない方にはあまり意味がないバスではないでしょうか。バスが廃止されると本当に困る人を検証すること、これからますます増えるであろう交通弱者を公平にフォローする仕組みづくりを考えていただきたいです。 ・市役所へのアクセスは重要だが、市役所の利用人数はかなり少ない。税をどこまで投入するのか別の方法でアクセスを提供できないか住民と向きあい議論すべき。 <p>国・県・広域</p>	<p>要改善【8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域(バス路線沿線)の人口減少が明らかなこの時代、今のシステムでは経費が膨らみ続けることが明らかである。バス会社へも応分の経費努力を求めてコスト削減に努めるべきである。一斉に廃止すると市民(弱者)への影響が大きすぎると思う。 ・今後は高齢化で考える必要がある。利用者がいなければ考えなければならぬ。 ・日東バスの保護っぽいですが。必要な老人もいますので慎重にです。 ・路線変更、便数、運賃を見直すべきである。 ・そもそもバス停に近くない人は乗れないのに、近い人のためにバスを続けるのは違う。 ・富津市の財政を考えると考える必要がある。 ・バスに乗ることのメリットを作れば良いと思う。 	<p>要改善【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学など中心部の利用は大きいですが、山間部での利用は少ない。山間部での利用者はオンデマンドでの利用にするなどを検討、又は1000～2000円など、その路線の負担金に見合う補助をするなど、コスト削減策を考えるべき。 ・目標値を定める必要があると思います。また、それらの状況を市民と共有するの一手法かと思えます。市民の足を確保するという視点で、他の代替の対策も考えるべきかと思えます。現状分析も必要。 ・いつまでも赤字を続けるわけにはいかないと思う。目標乗客数などを定めて進めるべき。乗客を乗せるためのキャンペーンなどの必要もある。乗客へのアンケートなどを実施してはいかがですか？ 	<p>・市民と一緒に議論。いくらかかっているかを市民に伝える。検討会議を早急に立ち上げる。通学に限定することの検討。</p>

事業 番号	担当課	仕分け事業名	仕分け 判定結果	主な理由、コメント				コーディネー ター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人・評価内容	
				現行通り	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を出すにあたって企業側が何かしらの努力をしているのか？運行本数を減らせるか検討しているのか？ ・大切な足なので削りたくはないです。でも本当に必要なのか、それだけのお金がないとダメなのかは考えた方がいい。「減らすのはちょっと」と決めないで市の職員の方で一定期間1日中バスに乗ってみて現状を実感してみてはいかがでしょうか。 ・バスの運行本数の見直し、乗降客数の無い時間帯は運行しない等。富津公園―木更津線はどうなるのか、今後について。 	現行通り		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人・評価内容	
13	企画課	企業誘致奨励金	要改善	<p>不要・凍結【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用促進につながらない点に問題がある。 ・雇用の促進につながると思えないので。 ・バブルの時みたいで恐ろしいです。奨励金よりも別な宣伝方法(?)を考えた方がいい。それで企業を呼ぶ。個人的には緑が多く静かな方が住みやすいので、大きな工場が多いのは好きではありません。緑を大切にしてほしいです。やるなら思想をもってやってほしい。どんな企業に来てほしいとか。 ・富津に新規参入した企業の多くが、東京から近いという利便性(アクアラインで1時間ちょっと)に拠ったということであれば、赤井教授が仰せのとおり奨励金は不必要なのでは?金に困ってたくさんの金を借りている(地方債あり)者が、(金に困ってもいない)他人におごるなんてと思ってしまう。奨励金は正規雇用、定住促進に振り向けるべきだと考える。 <p>国・県・広域【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2億円という金額は大きい。 ・奨励金があるために企業が進出して来ているのでなければ何のための金額なのか、企業が増える=雇用拡大とはならない。環境保全がどこまで守られるのか不明。景気に左右されるので、法人税収入がどれだけ入ってくるかは不明である。トヨタ自動車ですえ5年間全額払っていなかった。(合法的に) <p>要改善【7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税の検討が必要である。 ・企業の進出が立地条件で呼べるのであれば、従業員が富津に住んだ場合のインセンティブ又は社員寮の建設等にインセンティブを与えることを考えるべき。しかし、排他的な土地柄の改善が必要。 ・富津市は、都市に近く企業側が希望するならば、奨励金の働き具合を調べるべき。企業が更なる成功をして税を納めるようになってほしい。産業が盛んになれば雇用もあるのでは? ・工業団地での空きが少なくなれば、適用要件を満たす企業の進出が難しくなると思われる。新たな誘致の案を検討した方が良いのではないか。 ・企業の誘致が進んだ時、単純に市民として喜びました。雇用が増えると思ったからです。しかし、実際にはあまりなかったように感じる。あと、大きい会社に限定しているようなので、最初の高い3年間分の固定資産税が入ってこないのは、もったいないと思いました。全体として、どんな街づくりをしたいのかを行政と市民で話し合っ、より良い雇用の補助金や、住み移ってくれる人を求めるようにするとういと思う。 ・確かに新しい企業が来ることはいいが、どこに来るかが問題。 <p>現行通り</p>	<p>不要・凍結【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インセンティブが現状のままで良いとは思えない。30年前のものなので現状に合わせた見直しを。例えばアクアラインの交通費の減免?在住者へのインセンティブ? ・この補助金が真に立地の要因になったのか、今後もそうなるのかが明らかではない。他の誘致策も含めて考えるべき。雇用の確保が目的であれば、雇用の補助も考えられる。 <p>国・県・広域</p> <p>要改善【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津市としての意志や働く仕組みが必要。例えば波及効果が得られる企業を優先する。業種を特定して優先するのか。 ・課題認識はされているが、雇用の確保を条件とする等の改善が必要。 ・奨励金がお礼として使われている印象を受けます。これがインセンティブになっているとは思えないです。本気で企業を呼びたいなら、営業に行くのも一つの手だと思います。 ・誘致の可能性はまだあると考えられる。大きなインセンティブになるかどうかについては判断できなかったが立地による住民増につなげてほしいと思います。 <p>現行通り</p>	<p>・景気回復時代については、助成を止める。</p>		

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
14-1	子育て支援課	私立保育園運営事業 (私立保育園予備保育士設置費補助金)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備的補てんという考え方ではなく、改善への補助という考えの事業にして行くべき。 ・管理数字を適切に採取し、PDCAを有効に回せていない印象を受けた。 ・業務に関して精度が甘い。シビアに見直すべき。 ・民間の保育園経営の内容が提示されていないので状況が把握できませんが、補助金ありの経営は見直すべきではないか。説明から判断すると市の指導を強化することにより私立の独自性を維持する方向を促進する。 ・県からの補助がある対象者が3歳未満・障害者なので、このためという名目になっているが、実際は全体の保育士の充実のため？ <p>現行通り【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎりぎりの保育士の人数で保育を行うことは、保育士も生身の人間なので厳しいと思います。富津市は、子供の人数が少ないので、さらに保育士の人数にも余裕があって手厚い保育を行えることは富津市の魅力になると思います。保育士1人分の補助金とは大きな金額ではないと思うので、これは減らさず、富津の良いところとしてPRを上手にするべきだと思います。 	<p>不要・凍結【1】</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の補助を継続するにしろ、発想を逆転させて、年間を通して2名程度の加配(国基準に対して)は必要であり、それに対する補助とし、その条件として3歳未満と障害児を受け入れる基準があることを要件とし、実際に受けたときに県費が入ってくると考えてはどうか。従って名称も再考すべき。 ・大切なのは、各児童や家庭が平等に同じような質のサービスを受けられる事だと思います。対象の2事業だけで考えるのではなく、全ての補助事業及び公立の保育所も含め、同等のサービスレベルを提供できるように全体の見直しが必要と思います。 ・名称と目的のギャップがあり、分かりにくい。目的を明確にした方が良い(名称を変更した方が良い)。 <p>現行通り【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直すべきは公立の保育所であろう。安心できる子育てのためには不可欠の事業である。 	<p>・私立保育園の補助の在り方を全体的に見直し、整理が必要</p>		

事業 番号	担当課	仕分け事業名	仕分け 判定結果	主な理由、コメント				コーディネー ター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
14-2	子育て支 援課	私立保育園運営事 業 (延長保育促進事 業補助金)	現行通り	不要・凍結 国・県・広域 要改善 【5】 現行通り 【5】	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関し、精度に対する考え方が甘い(公立の業務が甘い)。 ・延長保育の公私で基準値を定め、受益者負担を平準化して収支のバランスを図るべき。今後の社会状況により、受け入れ体制だけは全てに開示・宣伝する。 公立を補う役割が必要。 	不要・凍結 国・県・広域 要改善 【2】 現行通り 【3】	<ul style="list-style-type: none"> ・自己負担の統一的な金額設定、ルールが必要。新制度の移行の際に、補助金制度の抜本的な見直しをすべきであった。早期に改善が必要である。 ・公立においても類似のサービスを提供することを検討し、指定管理者制度の利用も考えてはどうか。 ・待機児童もいない、延長保育も全て受け入れている富津市は子育てをするのにとっても良い地域なのではと思いました。公立では他市からの受け入れもしているということで、もっとアピールして財源にすれば良いのではと思いました。但し、14-1と同じように全体的見直しは必要だと思います。 ・私立の保育園に対する補助金の一環として見れば、市の負担はやむを得ない。 ・対象事業ではないが、公立の方に問題が多いのではないかと考える。定額制にして、より安定性のある制度に検討することが必要ではないか。 	

※判定人結果が同数のため、仕分け人の結果「現行通り」による。

事業 番号	担当課	仕分け事業名	仕分け 判定結果	主な理由、コメント				コーディネー ター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
15	子育て支 援課	子ども医療対策費	要改善	<p>不要・凍結 【3】</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善 【3】</p> <p>現行通り 【1】</p>	<p>・別の方法で市の魅力を高めた方が良いのでは？</p> <p>・経済的理由で医療機関にかかれない人に対しては、別途手当であれば良いことだと思います。また、長期入院が必要なので負担が大きい世帯も別に手当であれば良い。一般的に子供は高学年になれば病院にかかる率も少なくなることが多いので、中学3年までの必要性を感じられない。また、個人的にもいたずらに医者にかかり、薬を処方される事が人体にいいとは思えない。</p> <p>・対象者を明確化した中での対応ができない場合は、総論的な助成は意味が無いか。</p> <p>・効果の検証はされていないが「0円又は200円なら」と病院に行くことをためらわないのも現実。(また、若者家族の家計は厳しい)患者増というマイナスもあるかもしれないが、安全・安心を第一に考えるなら必要かと思う。子育て支援は、使い道が逆に不安。</p>	<p>不要・凍結 【4】</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善 【1】</p> <p>現行通り</p>	<p>・助成の効果測定のためには、現状のレセプトの分析が不可欠と考える。助成額の分布、地域差などを検証してはどうか。その上でないと、市民の判断材料がイメージ以外になく、税投入の根拠が分からない。</p> <p>・他都市が同じような事業を一律で実施している中、富津市だけが急に止めることはやはりイメージ的にも難しいと思いますが、他市と共同で見直し、或いは市民に本当に必要な子育て支援の内容を聞いて効果のある事業のみに絞るべきだと思います。</p> <p>・本当に必要ならば(経済的理由で適切な医療が受けられないケースがあるならば)、健康保険制度の改正を要望する必要がある。周辺自治体での協議も必要。</p> <p>・目的は既に達成されているのではないか？効果測定をきちんと実施して経済的理由による児童の健康悪化が観察されないのであれば、用途限定をつけない子育て支援に予算を充当した方が良いのではないか。</p> <p>・本来は凍結した上でゼロベースで見直すべきだが、人命にかかわる可能性があるため、現制度を維持した上で、効果測定を至急行うべきである。</p>	<p>・効果が見えない</p>

※「不要・凍結3<要改善3+現行通り1」により、行政の関与不要と必要で比較し、行政の関与が優先され「要改善」となる。

事業番号	担当課	仕分け事業名	仕分け判定結果	主な理由、コメント				コーディネーター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
16-1	教育総務課	学校給食事業 (学校給食管理運営事業)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【7】</p> <p>・施設は老朽化して、費用もかかることを考えれば、デリバリー制にして外部委託してもよい。そうすることで地元企業の振興にもなる。</p> <p>・共同調理場で加工食品を使うが増えると、それに含まれる食品添加物の摂取量が増えてしまうことがとても心配です。例えば、調理開始時間を早くするなどして、手作り食をできる限り残してもらいたい。作業開始が8時からである必要はないと思います。今行っている地元の食材を使った安全なおいしい料理はぜひ残してもらいたい。</p> <p>・給食は、毎日食べるものなので、食の安全の確保は絶対してもらいたい。子供が食べる食材の生産地や農薬等の使用状況、食品添加物の摂取量(これに対する危険性など行政の方はきちんと理解されているか、どの程度把握されているかとても疑問に感じました)など、親の管理から離れてしまうのでとても心配です。食材・調味料・油など、安全なものを使用し、加工品は極力使わない工夫をしていただきたい。そこで、多少コストがかかっても将来の健康の維持ができるならいいと思います。子供の食の管理をどうしても学校がするなら、必ず安全なものを出してもらいたい。</p> <p>・夏休み中の利用活用の検討。</p> <p>・統合については、給食費を支払う保護者の意見を考慮し、経費のバランスを優先し、結論づけてほしい。</p> <p>現行通り</p>	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善【5】</p> <p>・単独校方式の方が良いと考える。一方でコスト削減は不徹底。</p> <p>・給食は必要だと思いますし、食育もとても重要なので、単純にコスト削減をすれば良いとは思いませんが、財政難の富津市では、もっと効果的に(質を落とさずに)調理場を回す方法があると思うので、より大きな改革を今後検討されるべきと思います。</p> <p>・共同調理場での調理を行うという方向のようだが、食育を含めた教育効果を考えると極めて疑問である。学校給食に安易にコスト意識を持ち込むことは危険である。</p> <p>・法令等の制約はあるものの、コスト削減の余地は大きいと思われる。ケータリングサービスの利用も含めて、ゼロベースでコスト削減を考えるべし。</p> <p>・効率性を重視するのであれば、各調理場ごとの一食当たりのコストを明らかにした上で、統廃合のプランを市民に提示すべき。</p> <p>現行通り</p>			

事業 番号	担当課	仕分け事業名	仕分け 判定結果	主な理由、コメント				コーディネー ター意見
				内訳	市民判定人評価内容	内訳	仕分け人評価内容	
16-2	教育総務課	学校給食事業 (給食材料費)	要改善	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善 【4】</p> <p>・給食費と相応できる食材の仕入れ促進をすること。地産地消で地元機能(食教育)。 ・富津は地元の野菜や魚がとてもおいしいので、ぜひ今まで通り地元で調達していただきたい。多少高くても良い品、おいしい品を子供たちに食べさせたい。子供の将来のために味覚も育てていただきたい。変な物を食べさせるリスクをぜひ真剣に考えていただきたい。</p> <p>現行通り 【3】</p>	<p>不要・凍結</p> <p>国・県・広域</p> <p>要改善 【3】</p> <p>・徴収率も高いですし、材料費が適切かどうかは判断できません。現行の子供や家庭の満足度の測定や、同じ食材をより安く供給できる方法はないのか等、現行の制度に問題がないのか今一度見直しが求められるのではないのでしょうか。 ・随意契約ではなく、一般競争入札を採用するなど、味の改善、コスト削減をするインセンティブ(誘因)を納入業者に与えるような仕組みを考えるべし。 ・富津市の給食として、何を指すのかというビジョンに沿った調達方法とすべき。コストを重視するのであれば、統一メニュー、共同発注となるはずである。</p> <p>現行通り 【2】</p> <p>・評価ができない。</p>			